

松本城の幻想

宮本鐵雄

松本城本丸庭園で「月見の宴」が開催されライトアップされたお城でフルートや三曲、雅楽が演奏されています。目を閉じて聞入ると居ると幽玄な幻想の世界へ引き込まれていきました。

ドドーン、ドーンと遠くで轟音が響いています。また合戦が始まっているのでしょうか。それとも平穏な時代を楽しむ花火の音でしょうか。合戦の拠点として築かれた松本城でも、穏やかで平和な時間を築しめたこともあったのでしょうか。

松本城の夜空に次々と打ち上げられる花火、大輪の華が重なって咲いては消えまた輝きを増し、お堀にも花火が映って鏡面のように艶やかな彩を見せています。月見櫓ではかがり火に照らされて雅楽が演奏されて優雅な雰囲気を感じ、城下では武士も庶民も皆揃って平和な時代を楽しんでいます。文字通り生命を掛けた戦いの合間、つかの間の平和を祝う祭りは今にもまして華やかなものだったに違いありません。戦乱の続く栄枯盛衰の世に、このお城がそのまま存続していることを願いながらのお祭りだからです。

ドーン、ドドーン。花火の音が響き満天に、水面に耀いた光が消え、一瞬の静寂に、そっと目を開けると雅楽の音が続いて水面の花火の幻想から現実に戻されました。

月見櫓の宴を礎とする「楽都松本」は、戦乱の世の巨大なオブジェ「松本城」を松本市のシンボルとし観光の目玉としています。

一所懸命で守り抜いた先人の願いを想い、戦国の象徴を逆に平和の象徴として引き継ぎ、護って行く心意気が、求められているような気がします。私たちに何ができるのかじっくり考えてみませんか。

ドドーン、ドドーン。幻想がよみがえって来るような気がしました。

花火と水面はパソコンによる合成です